資料3－1

# 令和元年度　指定管理者年度評価シート

## １　公の施設の基本情報

| | |
|---|---|
| 施設名称 | 千葉ポートアリーナ |
| 条例上の設置目的 | スポーツの振興及び文化の向上を図るため。 |
| ビジョン<br>（施設の目的・目指すべき方向性） | トップスポーツのホームゲーム開催や競技スポーツの国際大会・全国大会の開催や、市民総体等の市民レベルの大会の開催の他、障がい者スポーツ施策の展開における拠点等、市スポーツ施策の中心的役割を果たす。 |
| ミッション<br>（施設の社会的使命や役割） | 市スポーツ施策と一体となり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプ受入れや障がい者スポーツ大会の受入れ、更には市内他施設において需要の吸収が困難な市民レベルの大会等の受入れを中心に行う。 |
| 制度導入により見込まれる効果 | 本施設は、国際的・全国的なトップスポーツのイベントや各種文化イベントの開催が可能な高水準の設備を備えた集客施設であるが、今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障がい者スポーツ施策の更なる推進や他施設では吸収が困難な市民総体等の市民レベルの大会の優先的な受入れといった、市スポーツ施策の展開により、施設の効用を発揮することが大幅に制限されることで、収益性が低下することが予想される。<br>そのような状況下で、本施設の提供する市民サービスを低下させることなく、安定的、継続的な運営を行うとともに、市スポーツ施策と一体となった柔軟かつ弾力的な管理運営を期待する。 |
| 成果指標※ | ①　施設利用者数<br>②　スポーツ教室開催数 |
| 数値目標※ | ①　250,000人／年　以上<br>②　20教室／年　以上 |
| 所管課 | 市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課 |

※　成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

## ２　指定管理者の基本情報

| | |
|---|---|
| 指定管理者名 | 公益財団法人　千葉市スポーツ振興財団<br>※H31.4.1から千葉市体育協会との事業統合に伴い、<br>「公益財団法人　千葉市スポーツ協会」に名称変更 |
| 構成団体<br>（共同事業体の場合） | |
| 主たる事業所の所在地<br>（代表団体） | 千葉市中央区問屋町１番２０号 |
| 指定期間 | 平成２８年４月１日～令和３年３月３１日（５年） |
| 選定方法 | 非公募 |
| 非公募理由 | 千葉ポートアリーナについては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本代表チームの事前練習会場及び強化拠点施設として想定されていることや、障がい者スポーツ施策の更なる展開により施設利用が大幅に制限され、民間事業者の創意工夫による効用の発揮、収益拡大は見込めない。<br>現在の指定管理者である千葉市スポーツ振興財団は、収益を目的としない公益財団法人であり、市の施策実現のために設立された外郭団体であることから、市と一体となった効果的・効率的な施策の実施や、柔軟かつ弾力的な対応が可能となるため、非公募で選定する。 |
| 管理運営費の財源 | 指定管理料及び利用料金収入 |

## ３　管理運営の成果・実績

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況

| 成果指標 | 数値目標※ | 令和元年度実績 | 達成率※ |
|---|---|---|---|
| 施設利用者数 | 260,000人(250,000人) | 276,188人 | 106%(111%) |
| スポーツ教室開催数 | 25教室(20教室) | 32教室 | 128%(160%) |

※　数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（２）その他利用状況を示す指標

| 指　標 | 令和元年度実績 |
|---|---|
| | |
| | |

## ４　収支状況

（１）必須業務収支状況

ア　収入

（単位：千円）

| 費　目 | | 令和元年度 | 【参考】平成30年度 | 計画実績差異・要因分析 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 差異 | | 主な要因 |
| 指定管理料 | 実績 | 177,949 | 179,527 | 実績－計画 | 4,626 | コロナウィルス感染拡大防止に伴う閉館の休業補償等 |
| | 計画 | 173,323 | 188,023 | 計画－提案 | △ 21,609 | 管理費(修繕・設備機器管理費)の減額 |
| | 提案 | 194,932 | 192,219 | | | |
| 利用料金収入 | 実績 | 107,712 | 106,783 | 実績－計画 | 22,628 | 誘致事業の拡大 |
| | 計画 | 85,084 | 84,096 | 計画－提案 | 803 | |
| | 提案 | 84,281 | 84,096 | | | |
| その他収入 | 実績 | | 0 | 実績－計画 | 0 | |
| | 計画 | | 0 | 計画－提案 | 0 | |
| | 提案 | | 0 | | | |
| 合計 | 実績 | 285,661 | 286,310 | 実績－計画 | 27,254 | |
| | 計画 | 258,407 | 272,119 | 計画－提案 | △ 20,806 | |
| | 提案 | 279,213 | 276,315 | | | |

イ　支出

（単位：千円）

| 費　目 | | 令和元年度 | 【参考】平成30年度 | 計画実績差異・要因分析 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 差異 | | 主な要因 |
| 人件費 | 実績 | 66,800 | 60,886 | 実績－計画 | △ 268 | |
| | 計画 | 67,068 | 66,767 | 計画－提案 | △ 614 | |
| | 提案 | 67,682 | 67,335 | | | |
| 事務費 | 実績 | 81,857 | 78,048 | 実績－計画 | 9,757 | 光熱水費、消耗品購入費の増加 |
| | 計画 | 72,100 | 89,652 | 計画－提案 | △ 19,189 | |
| | 提案 | 91,289 | 91,289 | | | |
| 管理費 | 実績 | 135,241 | 119,296 | 実績－計画 | 16,002 | 外壁塗装等修繕費の増加 |
| | 計画 | 119,239 | 115,700 | 計画－提案 | △ 1,003 | |
| | 提案 | 120,242 | 117,671 | | | |
| 委託費 | 実績 | 0 | 0 | 実績－計画 | 0 | |
| | 計画 | 0 | 0 | 計画－提案 | 0 | |
| | 提案 | 0 | 0 | | | |
| その他事業費 | 実績 | 0 | 0 | 実績－計画 | 0 | |
| | 計画 | 0 | 0 | 計画－提案 | 0 | |
| | 提案 | 0 | 0 | | | |
| 間接費 | 実績 | 0 | 0 | 実績－計画 | 0 | |
| | 計画 | 0 | 0 | 計画－提案 | 0 | |
| | 提案 | 0 | 0 | | | |
| 合計 | 実績 | 283,898 | 258,230 | 実績－計画 | 25,491 | |
| | 計画 | 258,407 | 272,119 | 計画－提案 | △ 20,806 | |
| | 提案 | 279,213 | 276,295 | | | |

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。
「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

（２）自主事業収支状況

ア　収入

（単位：千円）

| 費　目 | | 令和元年度 | 【参考】平成30年度 |
|---|---|---|---|
| 自主事業収入 | 実績 | 4,426 | 4,644 |
| その他収入 | 実績 | 0 | 0 |
| 合計 | 実績 | 4,426 | 4,644 |

イ　支出

（単位：千円）

| 費　目 | | 令和元年度 | 【参考】平成30年度 |
|---|---|---|---|
| 人件費 | 実績 | 400 | 394 |
| 事務費 | 実績 | 324 | 344 |
| 管理費 | 実績 | | |
| 委託費 | 実績 | 51 | 67 |
| 使用料 | 実績 | | |
| 事業費 | 実績 | 2,644 | 2,919 |
| 利用料金 | 実績 | 1,308 | 1,275 |
| その他事業費 | 実績 | | |
| 間接費 | 実績 | | |
| 合計 | 実績 | 4,727 | 4,999 |

間接費の配賦基準・算定根拠

（３）収支状況

（単位：千円）

| | | 令和元年度 | 【参考】平成30年度 |
|---|---|---|---|
| 必須業務 | 収入合計 | 285,661 | 286,310 |
| | 支出合計 | 283,898 | 258,230 |
| | 収　支 | 1,763 | 10,482 |
| 自主事業 | 収入合計 | 4,426 | 4,644 |
| | 支出合計 | 4,727 | 4,999 |
| | 収　支 | △ 301 | △ 61 |
| 総収入 | | 290,087 | 290,954 |
| 総支出 | | 288,625 | 263,229 |
| 収　支 | | 1,462 | 27,725 |
| 利益の還元額 | | 0 | 0 |
| 利益還元の内容 | | | |

## ５　管理運営状況の評価

（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

| 評価項目 | 市の評価 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 施設利用者数 | B | 市設定目標の111% |
| スポーツ教室開催数 | A | 市設定目標の160 % |

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：成果指標が市設定の数値目標の１２０％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＢとする。）
Ｂ：成果指標が市設定の数値目標の１０５％以上１２０％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＣとする。）
Ｃ：成果指標が市設定の数値目標の８５％以上１０５％未満
Ｄ：成果指標が市設定の数値目標の６０％以８５％未満
Ｅ：成果指標が市設定の数値目標の６０％未満

（２）市の施設管理経費縮減への寄与

| 評価項目 | 市の評価 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 市の指定管理料支出の削減 | A | 提案及び事業計画額の修繕費、設備機器管理費の見直しを実施し、指定管理料を約12%の縮減とした。 |

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：選定時の提案額から１０％以上の削減
Ｂ：選定時の提案額から５％以上１０％未満の削減
Ｃ：選定時の提案額と同額又は５％未満の削減
（Ｄ・Ｅ：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

（３）管理運営の履行状況

| 評価項目 | 自己評価 | 市の評価 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| **1　市民の平等利用の確保・施設の適正管理** | C | C | |
| 市民の平等利用の確保 | | | |
| 関係法令等の遵守 | | | |
| リスク管理・緊急時対応 | | | |
| **2　施設管理能力** | | | |
| **（１）人的組織体制の充実** | B | B | 施設職員全員の上級救命講習を受講済み<br>初級障がい者スポーツ指導員の資格取得 |
| 管理運営の執行体制 | | | |
| 必要な専門職員の配置 | | | |
| 従業員の能力向上 | | | |
| **（２）施設の維持管理業務** | B | B | トレーニング室のマシンの更新を行い、施設の設備充実に寄与した。 |
| 施設の保守管理 | | | |
| 設備・備品の管理・清掃・警備等 | | | |
| **3　施設の効用の発揮** | | | |
| **（１）幅広い施設利用の確保** | B | B | 2年連続となる大相撲千葉場所を誘致する等、積極的に事業を誘致し、目標を上回る利用者数を達成した。 |
| 開館時間・休館日 | | | |
| 利用料金設定・減免 | | | |
| 利用促進の方策 | | | |
| **（２）利用者サービスの充実** | C | C | |
| 利用者への支援 | | | |
| 利用者意見聴取・自己モニタリング | | | |
| **（３）施設における事業の実施** | B | B | 自主事業で実施する教室数を拡大させたほか、オリンピック・パラリンピックに関連する多くの事業を受け入れる等、市の事業の円滑な運営に寄与した。 |
| 施設の事業の効果的な実施 | | | |
| 自主事業の効果的な実施 | | | |
| **4　その他** | | | |
| 市内業者の育成 | C | C | |
| 市内雇用への配慮 | | | |
| 障害者雇用の確保 | | | |
| 施設職員の雇用の安定化への配慮 | | | |

【評価の内容】
Ａ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
Ｄ：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（４）市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

| 意見の内容 | 意見対象年度 | 対応・改善の内容 |
|---|---|---|
| ・アンケート配布方法を工夫する等、回収数を増加させるとともに、利用者からの意見を踏まえた対応に努められたい。<br>・東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会終了後においても、利用者数、集客数を維持できるよう努められたい。<br>・障がい者スポーツへの対応等、引き続き市の施策へ協力されたい。<br>・自主事業の収支改善を図るとともに、利益の還元にも努められたい。 | H30年度 | ・アンケート結果を踏まえ要望の多かったトレーニング室の器具について新規で新たな器具を購入した。<br>・オリンピック・パラリンピック関連のイベントの受け入れに積極的に行った。なお、利用者数は台風15号及び19号や大雨及び2～3月期にコロナウィルスの影響等で利用控えがあった為、昨年比で減少となった為、令和2年度は引き続き利用者数増加に向けて運営を行っていく。<br>・市の施策に基づく障がい者スポーツのイベントの受け入れや車いすバスケットボールの強化練習会場の受け入れを積極的に実施している。<br>・自主事業の教室の開催数は昨年より増加させ、自主事業収益の拡大に取り組んだ。コロナウィルスに伴う事業の見送りに伴い、収益は赤字となったが引き続き自主事業収支の改善に努める。 |

## ６　利用者ニーズ・満足度等の把握

（１）指定管理者が行ったアンケート調査

| | | |
|---|---|---|
| 実施内容 | 調査方法 | 施設利用者に対し、アンケート用紙を配布 |
| | 回答者数 | 1回目：140件、2回目：108件 |
| | 質問項目 | 下記のとおり |
| 結果 | 1回目（令和元年9月25日（水）～令和元年10月31日（木））<br>○回答者の属性<br>【性別】男性：58%、女性42%<br>【年齢】10代 17%、20代 28%、30代 15%、40代 18%、50代 11%、60代以上 11%<br>【居住地】千葉市内 69%　千葉市外 31%<br>【交通手段】徒歩 22%、自転車 21%、オートバイ 4%、自動車 33%、バス 2%、電車18%<br>【利用頻度】はじめて11%、月に1回45%、月に1～2回8%、週に1～2回5%、週に2回以上5%、<br>年に数回16%、年に1回10%<br>【利用目的】健康維持のため 30%、ダイエット 13%、リハビリ 1%、競技力・体力向上 45%<br>その他　12%<br>○施設の満足度<br>【スタッフの対応】非常に良い38%、まあまあ良い27%、普通35%、やや悪い0%、非常に悪い0%<br>【施設の清潔感】非常にきれい20%、まあまあきれい30%、普通41%、やや汚い9%　大変汚い0%<br>【受付方法の満足度】非常に良い31%、まあまあ良い35%、普通32%、やや悪い1%、非常に悪い0%<br>【施設の満足度(メインアリーナ)】とても良い69%、まあ良い15%、普通16%、やや悪い0%、非常に悪い0%<br>【施設の満足度(サブアリーナ)】とても良い30%、まあ良い24%、普通42%、やや悪い3%、非常に悪い0%<br>【施設の満足度(トレーニング室)】とても良い50%、まあ良い36%、普通0%、やや悪い14%、非常に悪い0%<br><br>2回目（令和2年2月28日（金）～令和2年3月31日（火））<br>○回答者の属性<br>【性別】男性：47%、女性53%<br>【年齢】10代 35%、20代 22%、30代 18%、40代 16%、50代 7%、60代以上 2%<br>【居住地】千葉市内 59%　千葉市外 41%<br>【交通手段】徒歩 6%、自転車 11%、オートバイ 1%、自動車 57%、バス 2%、電車23%<br>【利用頻度】はじめて32%、月に1回20%、月に1～2回10%、週に1～2回6%、週に2回以上5%、<br>年に数回25%、年に1回2%<br>【利用目的】健康維持のため 13%、ダイエット4%、リハビリ 1%、競技力・体力向上 76%<br>その他　6%<br>○施設の満足度<br>【スタッフの対応】非常に良い29%、まあまあ良い64%、普通7%、やや悪い0%、非常に悪い0%<br>【施設の清潔感】非常にきれい21%、まあまあきれい36%、普通29%、やや汚い14%　大変汚い0%<br>【受付方法の満足度】非常に良い36%、まあまあ良い29%、普通36%、やや悪い0%、非常に悪い0%<br>【施設の満足度(メインアリーナ)】とても良い50%、まあ良い37%、普通13%、やや悪い0%、非常に悪い0%<br>【施設の満足度(サブアリーナ)】とても良い37%、まあ良い30%、普通33%、やや悪い0%、非常に悪い0%<br>【施設の満足度(トレーニング室)】とても良い33%、まあ良い67%、普通0%、やや悪い0%、非常に悪い0% | |

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

| 主な意見・苦情 | 指定管理者の対応 |
|---|---|
| トレーニング室のフリーウエイト器具について、同じ人が独占しており使用できないので1回の使用時間を30分から15分に短縮して欲しい。 | ウエイト装着や小休憩を含め、身体に負担が無く安全に使用するために定めた時間であり短縮は難しく、今後も引き続き30分での運用とした。 |
| コロナウィルス感染拡大防止のため、トレーニング室が閉鎖となっているが、いつ頃再開の見通しなのか。 | 現時点で日程の目途は立っておらず。決定次第HP等でも周知させていただく、その他再開時期等は市の指針によるため市役所に問い合わせ頂くよう説明した。 |
| トレーニング室の3か月パスポートを持っているが、休館期間中に有効期限を過ぎてしまう。 | パスポートの有効期限を延長し対応することとした。 |

## 7　総括

（1）指定管理者による自己評価

| | | | |
|---|---|---|---|
| 総括評価 | B | 所見 | 昨年度に引き続き、本年度もナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の指定を受け、パラスポーツ（車いすバスケットボール）での施設優先確保（年間２６日）を実施した。また、地域貢献活動として市内小学校を招いて、同男子日本代表チームとの交流会の開催に協力した。<br>市民に対して「見るスポーツ」として大相撲千葉場所を昨年度に引き続き誘致し、迫力の取り組みを間近で観戦する機会を提供した。<br>また、今年度は多くの国際大会（アジアフェンシング選手権大会、バスケットボール日本代表国際試合、ワールドテコンドーグランプリ、ゴールボールアジアパシフィック選手権大会）やプロスポーツ（Ｂリーグ千葉ジェッツ公式戦）が開催され、主催者側の大会運営に協力した。 |

（2）市による評価

| | | | |
|---|---|---|---|
| 総括評価 | B | 所見 | 令和元年度については、台風や大雨、新型コロナウィルス感染拡大防止を目的とした施設の一部休館などの影響を受けたもののイベントの誘致や自主事業の増加により、利用者数及び自主事業の教室の開催数等の成果指標は市が設定する目標を上回る結果となった。<br>また、アジアフェンシングやワールドテコンドーグランプリ、パラスポーツフェスタといったオリンピック・パラリンピックに向けた機運向上を目的としたイベントの受け入れも積極的に行っており、市の施策に貢献している。<br>これらのことから、市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていたものと評価する。 |

【評価の内容】
Ａ：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
Ｄ：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（3）市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について
　市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
イ　管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について
（ア）　アンケート結果等を踏まえ、引き続き利用者の要望に応える管理運営に努められたい。
（イ）　施設の清潔の保持に努められたい。
（ウ）　指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、全体として資産は減少しているものの、事業別の収支が改善し利益も生じていることから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。